

NHK 環境経営アクションプラン

(2021-2023年度)

政府が2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを目指す方針を示したことを踏まえて、NHKは放送事業者として、みずからも二酸化炭素等の削減に向けた取り組みを加速させるとともに、放送やイベントなどを通じて環境問題に関する情報発信や地域と一体となった環境活動に一層取り組み、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

エネルギーを減らす

エネルギー効率のよい設備を導入するとともに、複合機などのオフィス機器の削減や働き方の見直しによる職場の節電などで、使用電力の削減をこれまで以上に進めていきます。

エネルギーを選ぶ

放送センターで使用する電力の一部を再生可能エネルギーにより発電された電力で賄うなどして、電力使用による二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいきます。

エネルギーを作る

建設中の新放送センターや全国で新たに建て替える放送局などで太陽光発電などを積極的に取り入れて、みずから使用電力を作る取り組みも進めていきます。

これらの取り組みを進めて、**2025年度末までに東京・渋谷の放送センターでの電力使用による二酸化炭素の排出量相当分（年間約48,000t・NHK全体の25%）をゼロにすることを目指します。**

全国の放送局なども含めNHK全体として2050年までの温室効果ガスの排出ゼロ社会の実現に向けた取り組みを強化していきます。

<別表> 環境経営アクションプラン(2021～2023年度)

数値目標

2025年度末までに電力使用によるCO2排出量を25%削減（放送センター排出量相当分・2018年度比）

実施内容		2021年度	2022年度	2023年度
各種設備の更新等で省エネルギー推進	Eテレ、ラジオ第2で深夜放送休止時間帯の停波を継続。メディアの整理・削減として2023年度に衛星1波を削減し、2025年度にラジオ1波を整理、削減する方向で検討します。	ラジオ第2：停波約5時間/日、Eテレ：停波約4時間/日を継続		
	放送センター・放送局の建替に伴い空調・照明設備の高効率化、屋上緑化などを行い省エネを推進、環境にやさしい放送会館を建設します。	(建替による新会館の省エネ化) 佐賀・富山会館	松江会館	BS2Kのうち1波を削減
	放送設備の省エネ化として、電源設備や空調設備の省エネ化、全国送信所の送信機の低消費電力化、スタジオ照明のLED化を進めます。	(冷凍機省エネ化) 盛岡・帯広会館	青森会館・豊橋支局	長野会館・松本支局
	オフィス設備の省エネ化として、LED化を進めるとともに、事務機器の削減を進め消費電力を削減します。また、電子化によりペーパーレスも推進します。	(送信機低消費電力化) 1局を更新	3局を更新	3局を更新
	再生可能エネルギー（グリーン電力等）の導入などによりCO2削減に取り組みます。	放送センターで導入開始	全国の放送局での展開も検討	
業務用車両の見直し	業務用車両に電気自動車等の導入を検討し環境に配慮します。	取材用車両等の更新にあわせて電気自動車等の導入を検討		
廃棄物削減・リサイクル率向上	分別を徹底しリサイクル率を向上させて廃棄物の削減を一層図ります。美術セットの3Rを継続します。	放送センターのリサイクル率の向上、全国の放送局でも取り組み強化		
	環境問題に関する番組を放送するほか、SDGsキャンペーン「未来へ17アクション」を実施します。	美術セットの3R(Reduce, Reuse, Recycle)の継続		
SDGsキャンペーン実施	環境問題に関する番組を放送するほか、SDGsキャンペーン「未来へ17アクション」を実施します。	「未来へ17アクション」実施		各種キャンペーンを検討